●「教える」とは、希望を語ること。「学ぶ」とは、誠実を胸に刻むこと。（ルイ・アラゴン）

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1295　2024/07/11（Thu）

発行　広島高校連絡会事務局
Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp
HP　http:// ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/
携帯 090－1180－7644（村井義幸）
090－9738－8264（望月照巳）

あなたはアメリカの反戦・反核画家

キース・ヘリングさんを知っているか？

キース・ヘリングは、アンディ・ウォーホルやジャン＝ミシェル・バスキアなどと同様に、１９８０年代のアメリカ美術を代表するアーティストです。
１９８０年から１９８６年の間に次々と展覧会が開催され、国際的にも高い評価を受けました。

明るく軽快な作風で知られる一方、社会を鋭く洞察し、平和や自由へのメッセージを送り続けました。しかし、１９８８年にはエイズを発症し、１９９０年に３１歳の若さで亡くなるまで、アート活動を通してＨＩＶ・エイズ予防啓発運動にも最後まで積極的に関わりました。

１９８８年、ヘリングは、広島で行われた原爆養護ホーム建設のためのチャリティコンサート「HIROSHIMA’88」のメインイメージを手がけたことをきっかけに広島を訪れました。原爆ドームや平和記念資料館へ足を運び、戦争の悲惨さを目の当りにしたヘリングは、平和への思いを形にすべく壁画制作を申し出ましたが、そのプロジェクトは実現することがありませんでした。そこで今回、調査を経て明らかになったキース・ヘリングの思い、広島での動向と活動、そしてヘリング没後の出来事に至るまでその足跡を、ポスターや映像、資料で紹介します。　期間中にワークショップもあります。

〈キース・ヘリングがみた広島〉

7月21日(日)～25日(木)開催

7月27日(土)～8月1日(木)開催

◎場所はどちらも、
被爆建物**旧日本銀行広島支店**

せこへい美術館が今年も開催　（世界の子どもの平和像）

２３回目を迎える「せこへい美術館」は、被爆者とのボディマッピングやウクライナ、カンボジアなど世界の子どもたちの作品、協力作家の作品など多彩に展示されます。
初日１５：００からのオープニングで、ハンドパン奏者**「峯モトタカオ」**ライブ演奏もあります。　（望月　照己　）

お文集

▼東京都知事選挙の結果を先週に続いて考察する。先週も述べたが、「想」に反して一位となった石丸氏の選挙参謀を務めた、藤川晋之助氏は、松下政経塾出身で、音喜多俊（希望の党＝当時）の選挙参謀も務めた人物▼みんなの党や、減税日本、そして東京維新の会の事務局長等を歴任している。参謀役を務めた選挙で、１４１勝１１敗と、圧倒的な結果を残しており「選挙の神様」ともよばれる。▼問題は、何故無名の地方自治体の市長を辞めただけの石丸氏が、このような選挙参謀と組むことが出来たか、に尽きると考える▼日本維新の会は、石丸氏の推薦を申し入れたが、断られ結果として「誰も推薦・支持しない」との中途半端な立ち位置で、今や分裂寸前の状態。藤川氏の経歴から言えば、維新の推薦を受けることは、言わば必然かとも思われるが、それを断ることが出来る点で、状況判断（読み）が深いと言える▼自民党の大逆風によって政権交代が起きる、前哨戦としての今回の東京都知事選挙で、反自民票を、共産党を含む野党勢力「絶対渡さない」戦略を具体的に描き実行出来る勢力（大物）が居ることが、実証された▼今回の成功を踏まえて、次の衆議院選挙での戦術も着々と練っているはずだ▼知恵比べで、負けるわけにはゆかない。

2024 7/18